

## 姫路信用金庫

### すべてを郷土繁栄とともに

〈ひめしん〉は、地元の中小企業や住民などの会員のみなさまがお互いに助け合い、発展していくことを理念として運営されている協同組織の金融機関です。地域社会の一員として地元のみなさまとの強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めるとともに、教育・文化振興を通じた豊かなまちづくり等、広く地域社会の活性化に取り組んでおります。

商号	姫路信用金庫
本社	〒670-0911 姫路市十二所前町105番地
創業年	1910年(明治43年)
設立年	1951年(昭和26年)
資本金	3,287百万円(2021年3月現在)
従業員数	685名(2021年3月現在)
事業内容	信用金庫



市会議員時代の創業者  
三宅正太郎

#### 「郷土の発展を目指した信用組合の設立

当金庫の創業は、創業者三宅正太郎が、兵庫県知事から信用組合の設立を依頼されたことに始まりました。正太郎は自身の事業で銀行に融資を断られた苦い経験から、中小・零細企業や庶民を相手にしなかった当時の銀行に対して不満と危惧を抱き、「郷土の商工業の発展と振興には庶民が利用できる金融機関が必要だ!」と強く感じていたことから「相互扶助」という信用組合の設立趣旨に感銘を受け、この設立に奔走しました。

姫路商業会総会での設立の発議は一度は否決されたものの、姫路の財政界人に説明を重ねて理解を得ることができ、明治43年2月1日、当金庫の前身である「姫路信用組合」として事業を開始しました。その後、信用金庫法の施行に伴い、昭和26年に「姫路信用金庫」へ改組しました。

#### 「110年以上続く創業理念「すべてを郷土繁栄とともに」

当金庫は創業理念「すべてを郷土繁栄とともに」に基づき、「地域社会に貢献し共生する」ことを常に考えてまいりました。郷土のために手助けをすることを当金庫の使命とし、長い歴史の中では終戦後の郷土復興、昭和40年不況、また甚大な被害をもたらした阪神大震災等といった厳しい状況のなかでも「地域とともに生きる」ことを第一に考えて取り組んでまいりました。また地域経済の活性化に向けた取組みだけでなく、「三宅正太郎育英会」や「有本芳水賞」を通じた次代の地域を支える子供達の育成や芸術文化の振興、地域イベントへの参加、ボランティア活動等にも力を注いでまいりました。

“地域とともに生きる”ため、地域社会にどのように役立てるかを考え続けた結果が110年を超える歴史に繋がったと考えております。

#### 「持続的な地域の発展に向けて～ひめしんSDGs宣言～

令和3年10月には当金庫の創業理念に通じるSDGsの理念に賛同し、「ひめしんSDGs宣言」を公表しました。その中でも、環境に配慮しつつ、協同組織の特性を活かした取組みで地域経済の活性化を図り、地域で活躍する多様な人材育成と地域振興による豊かなまちづくりを実現することを掲げています。

当金庫は創業以来110年以上にわたり、どのような経営環境の中でも地域のみなさまとともに歴史を繋いでまいりました。今後も「すべてを郷土繁栄とともに」の創業理念のもと、次の100年を目指して、時代に応じた新しい視点で持続的な地域の発展に貢献してまいります。



姫路信用組合初の独立店舗



本店外観



創立100周年記念事業  
「地域発信フェスティバル」  
(平成21年)



第32回 有本芳水賞記念詩集

since 1910